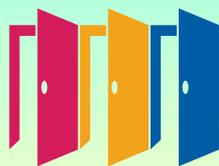




事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：藤澤健二 副会長：伊澤和男 幹事：多田浩之 公共イメージ向上委員長：三澤耕太



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 国際ロータリーのテーマ ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 RI会長
ホルガー・クナーク
<ドイツ>



第1549回例会 令和2年8月25日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 平澤理ソングリーダー



■ 会長談話 藤澤健二会長



こんにちは。先週は、本当に久しぶりにスポーツらしいものに接することが出来ました。私が、今迄どんな運動をしてきたのか、あわせて簡単な自己紹介をさせていただきます。

実は…。ゴルフ歴は古く、小学生の時ですが、同級生の父親のゴルフ好きから、たま～に嫌々ながら友達につきあいパターンをして遊んでいました。但し何度挑戦しても勝てずにいたことが苦手意識に繋がったのだと思います。中学では、サッカー部に入り、毎日、特大の“おにぎり”を持って暗くなるまでボールをおい走っていました。その甲斐あって、運動神経と足も速くなり、学校の大会では1500メートルでは4位入賞、その流れで高校では、陸上部に入ったのですが、大会出場者のレベルの高さに圧倒をされて退部をしました。

その後、隣の写真部入部。但し現像液の凄い酸っぱい匂いに耐えられずに退部。写真部の先輩からは「退部して他のクラブに入ったら殺すぞ。」と言われ固まっていたのですが、演劇部の先輩の女性から「うちにおいでよ。」とか言われて入った演劇部で、俳優の羽場さんと出会いました。それと並行してプライベートと言いますか…。他校の生徒同士で作られたハードロックバンドのボーカルとして入り、その時に人物デザイナーの柘植さんと出会いました。どこで、繋がるのか分かりませんが、今でも大切な友人として、つき合っていております。

その後、ミュージシャンを目指して上京。簡単に良い話などなく、新宿、六本木の夜の街で、弾き語りをしたり、カラオケの無い時代だったから、ギターでお客さんの伴奏をしたり、時にはスナックやレストランで料理を作り生計を立てていました。そんな或る日、弾き語りをしていた新宿の店の店長から紹介をうけ、居候として住ませたのが、その後「夏の日1993」の大ヒットを飛ばしたCLASSの津久井さん。また、別の事務所のオーディションで合格して事務所に入るには入れたのですが、「演歌や歌謡曲を歌わせたい！」と伝えられて退所。同じ事務所には、その5年後位に“KUWA TABAND”、メンバーに入る方々がおりました。その流れからか、チューリップ後期のメンバーの方とも接点が出来て、マネージャーの方から妻を紹介して頂きました。

どんな世界でもそうですが、何かと良い話があっても、強い気持ちだけでは「商品としての価値がなければいけない」と帰郷後、伊那食品工業に入社。所帯をもち、子供が出来て気付きました。

環境が一番。コネクションがあっても実力がなければ駄目。才能は二の次、他人が評価するものです。正しい評価を受ける前から理由もなく夢を信じていた。あの頃の私の話でした。

以上、会長談話とさせていただきます。

■ ニコニコボックス

◆藤澤健二 前回の2次会で、やっと2ヶ月経っただけなのに・・・会長が終わった!と思う気分になりました(笑)。さて、気持ちを入れ換えて。

本日の会員卓話は肥沼会員にお願いしました。入会して間もないのに快く引き受けて頂き有難うございます。よろしくお願いします。

◆井上修 この間、家の寒暖計が40℃を記録しました。輻射熱でしょうか。朝は22℃でした。冬はマイナス13℃を示す寒暖計です。“寒暖差”53℃の伊那です。

■ 幹事報告 多田浩之幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 出席報告 会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者22名 事前メイク2名
出席率55.00% 前回出席率 修正なし

■ 会員卓話 肥沼光彦会員



昨今、世の中はコロナ禍の話題ばかりになってしまいましたが、その前まで1、2年は、SDGsだとか、ESGだとかいう言葉が世界、日本で一人歩きしていたように思います。丸紅に転職する前の仕事では、実は、その言葉の使われる「前線」にいた身でもあり、本日の話題としました。

私は、去年の春まで、日本から15000km離れたコートジボワールに4年駐在していました。実は、前の仕事で、1980年代後半から足掛け30年余り、出張でご縁のあった場所でもあり、この30年間のアフリカの変化も身を以て感じてきました。多くの国が欧州の植民地でしたから、旧宗主国経由二日かかりでしかたどり着けなかったものが、今は日本からは、ドバイ、アジスアベバ、パリ経由で、21時間～24時間の場所になりました。例えば、エチオピア航空は、晩の8時頃成田を発って、仁川経由で翌日朝6時にはアジスアベバに到着し、そこからさらにニューヨーク行きの飛行機に乗り換えると、6時間ほど、翌日の現地時間昼ごろにアビジャン到着できる。これは、ヨーロッパ経由では考えられなかったことです。

この30年の間、変わった面、変わらない面を比べてみると、アフリカの国々の暮らしはすごい勢いで変化しています。

特に、過去15年の変化のスピードを加速させたのは、携帯電話とインターネットです。この勢いを観ると、日本人もウカウカしてられないかもしれない。インターネット、携帯電話の普及、分散型電源、、、いずれも、もともと何もなかったところに、固定電話や電線が整備されるのを飛び越して、いきなり普及してしまいました。「先進国」の「常識」からは見えない速度で、いつの間にか追い越されていることもあります。

例えば、アビジャンでは、日本でようやく昨年あたりから広がり始めましたが、4年以上前から、携帯電話、スマホのメッセージ機能を使った、キャッシュレスの支払い(モバイルペイメント)がごく当たり前で、今でも自分はアビジャンで使っていたスマホで、この場からでも日本の携帯の電波を使って、あちらの電気料金が支払えます。電線がない村でも、3年ほど前からは太陽光パネルと簡単な充電器のついたコントロールユニット、それに家庭用のLED電球や、冷蔵庫を、住民に割賦販売する商売も広がってきています。代金の支払いも、この携帯電話、スマホを使った、モバイルペイメントが主

流です。

ただし、貧富の「格差」も残念ながら拡大しています。いつその社会矛盾が爆発するかもしれないリスクもあります。私の住んでいたコートジボワールは、過去30年の間に内乱で約10年間寄りつかなかった時期もありました。今年の秋の大統領選についても3選を禁じられている現職大統領が、後継者の急死で、いきなり立候補を宣言しており、大統領選挙の結果が気になります。

翻って、伊那について周囲を見渡して見ますと、居を移してから1ヶ月あまり、車のナンバーも「松本」ナンバーに回帰して（、、、個人的には、見慣れナンバーに戻って感慨深いです）、自分にとっては、伊那に住み始めて、伊那谷が、住民の皆さんにとっての、「持続可能な毎日の暮らし」の実現に、実は大変に向いている恵まれた世界ではないかと感じています。言い換えれば、日々の暮らしの届く「サイズ感」、「地域経済のまとまり感」、「よそ見をしなくても事足りる世界」が、「ちょうど良い塩梅」なのではないかと感じています。

通勤のストレスもない、ソコソコの暮らしの便利さは損なわれていない、産業のバランスが取れている。競争力のある工業セクター、豊かな自然も残る、農業も豊か、手の届く範囲で、ほとんど事足りてしまう、、、目の届く範囲で、かつ、「地域の中で、程よく経済活動をする街が辰野から始まって、箕輪、伊那、駒ヶ根、高遠と、一極集中でもない。育った安曇野と比べても、伊那谷の「バランスのとれたまとまり感」について、注目しています。

信州で育って上京、大学卒業後35年働いて、この度再び信州のご縁が戻ったことで、このご縁を大切に、伊那谷において、暮らしやすい社会の少しでもお役に立てるようと考えて居りますので、どうぞみなさんのご指導をよろしくお願いします。

■ クラブフォーラム 「会員増強・プログラム委員会」 鈴木一比古会員増強・プログラム委員長



ロータリーの仲間になりませんか。

ロータリーは1905年、弁護士ポール・ハリスによって米国シカゴで設立されました。100年以上を経た現在、世界中に35,000以上のロータリークラブがあり、そのどれもが地元の文化や風土を反映した個性豊かなクラブとなっています。

ロータリークラブへの入会は招待制となっています。

ロータリーのグローバルインパクト

ロータリーが最も力を注いでいるのが、世界からポリオ（小児まひ）を撲滅する活動です。1979年、フィリピンでの児童予防接種をきっかけに、ロータリーがポリオ撲滅活動を開始。現在ポリオ発症数を99.9%減らすことに成功しています。これまでに人類が撲滅した伝染病は、天然痘の一つのみ。ポリオを史上2番目に撲滅される疾病とするために、全世界のロータリークラブが一体となって活動にあたっています。

コロナウイルスの時に会員増強は難しいと思いますが、会員の協力をお願い致します。

■ 点 鐘 13:30

次回例会

9月1日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店
・クラブフォーラム「米山記念奨学委員会」